

持続可能な発展を導く科学技術人材育成コンソーシアム GSC 広島
～世界を舞台とした教育プログラムと地域の産学官連携による人材育成～

○ステップステージ第五回セミナー（化学分野）

開催日時：令和元年10月22日（火・祝）10：30開始

場所：広島大学東広島キャンパス **情報メディア教育研究センター本館**

アクセス：

https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima/busstop_higashihiroshima/aca_7

※ 開始時間に間に合わない場合、欠席の場合は10/18（金）までにお知らせください。

■受付開始（10：00～）【情報メディア教育研究センター本館】

■情報リテラシー（10：30～11：30）

講師：隅谷 孝洋 准教授（情報メディア教育研究センター）

テーマ：「統計的仮説検定入門」

実験などで得られたデータについて、それらのグループ間の差や散らばりなどが偶然のばらつき以内のものであるか、それを越えたものかを判断するための目安となる統計的仮説検定の考え方について学ぶ。基本的な考え方と、平均値の差や比率の差などいくつかのパターンについて実際にどのように計算するのか、Excel や統計分析ソフトを用いて実習する。

■英語によるポスター指導（11：30～12：30）

講師：Christopher Knobler 講師（広島大学大学院理学研究科客員講師）

概要：異分野合同シンポジウムにおけるポスター発表について、研究内容発表における英語表現などについて学びます。

準備：研究（もしくは研究計画）における目的や方法などの内容についてあらかじめ英語にて発表できるように準備をしてきて下さい。

■昼食（英語サロン、留学生との交流）（12：30～13：15）

■分野別セミナー（13：30～17：00）

講師：早川 慎二郎 教授（広島大学大学院工学研究科）

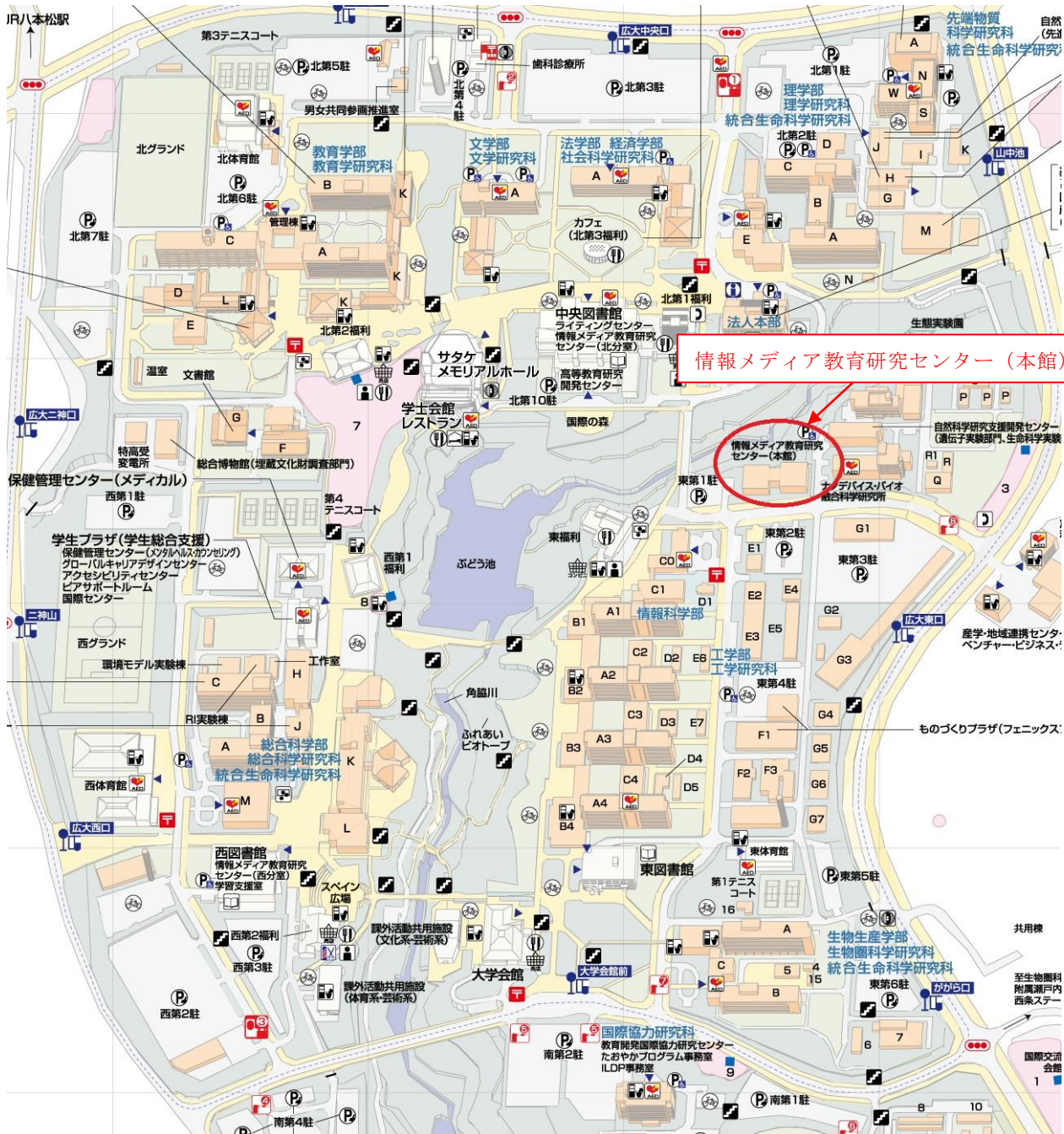
テーマ：「色から得られる化学情報（可視光、X線の分光から得られる情報）-」

概要：光の色を調べる分光学は原子モデルの構築に大きな役割を果たしました。分光学は目に見える光から始まりましたが、目に見えない光まで対象を広げることで、様々な化学情報が得られるようになりました。このセミナーでは、光吸収と物質の色の関係、蛍光などを取り上げます。具体的には水中の金属イオンが錯体を形成すると発色する現象を用いて、錯体の構造や金属イオンの濃度を調べる方法を理解します。また、X線を照射すると発生する蛍光X線分析についても実験を行い、蛍光X線のエネルギーが元素に固有であり、その明るさ（強度）が目的元素の存在量に比例することを利用して、未知試料について元素の定性、定量分析を行う実験を行います。

場所：工学部 A4 棟 4 階 451 セミナー室

※事前学習

可視光に対する分光器、補色について学習しておくとう理解が深まります



【連絡事項】

- セミナー中に写真やビデオ撮影を行います。写真やビデオは、GSC 広島ホームページや報告書に掲載される場合があります。
- 昼食の持参をお願いします。キャンパス内の食堂は営業していませんので、ご注意ください。
- 弁当のごみは持ち帰ってください。

【持参物】

- 筆記用具，実験ノート，名札，昼食

【お問合せ先】

広島大学 高大接続・入学センター

担当：中村，伊藤

T E L : 082-424-6172

E-Mail : nyusi-kodai@office.hiroshima-u.ac.jp

当日緊急連絡先：090-8628-3867